

Hiビニレックスエコ 60



特長

美しい仕上がり

しっとりとした落ち着いたあるつや消し仕上げになります。

低VOC

エマルジョン塗料に不可欠であった造膜助剤、凍結防止剤などのVOC[※]成分が非常に少なくなっております。したがって塗装後のVOC放出量が低くなっております。

高作業性

仕上がり性、塗りやすさ、タッチアップ性（補修性）がすぐれています。

※VOC=Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）
通常のエマルジョン塗料中には凍結防止剤や造膜助剤として数%のVOCが含有されています。

商品構成

	規格	種類	防火材料認定 [※]	色	つや	容量
Hiビニレックスエコ60	JIS K 5663	2種	NM-8585 不燃材料 QM-9816 準不燃材料 RM-9364 難燃材料	各色	つや消し	20kg

※旧基材同等第0001号、国土交通大臣認定、品目名:塗料・塗装

本商品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と店頭にて調色していただくためのJIS非表示品があります。JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。

基本性能

試験項目	規格	JIS K 5663 2種
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする	合格
塗装作業性	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない	合格
低温安定性(-5℃)	変質してはならない	合格
乾燥時間	2時間以内(23℃)、4時間以内(5℃)	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格
隠ぺい率%(白および淡彩)	95以上	合格
耐アルカリ性	18時間浸したとき異常がないものとする	合格
耐洗浄性	100回の洗浄に耐えるものとする	合格

Hiビニレックスエコ60

標準塗装仕様


工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー (ホワイト・透明)	1	0.10~0.16 ※1	4時間以上	水道水	ホワイト 0~10 透明 無希釈	はけ ウールローラー
上塗り	Hiビニレックスエコ60	2	0.12~0.14 ※1	2時間以上	水道水	5~10	はけ ウールローラー
			0.13~0.15 ※1			5~15	エアレススプレー

※下塗りには、水性透明シーラー、水性ホワイトシーラー、水性シミ止めシーラーⅡも使用できます。
 ※風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー (新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
 ※上記の各数値は、すべて標準的のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。
 (縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
 ※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。
 ※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。
 ※1・「ニッペ水性カチオンシーラー (ホワイト・透明)」の塗付け量は0.09kg/m²/回、「Hiビニレックスエコ60」の塗付け量は0.10kg/m²/回です。
 ・使用量:被塗表面単位面積あたりの塗料材料 (希釈する前)の使用質量 ・塗付け量:被塗表面単位面積あたりの塗料材料 (希釈する前)の付着質量

■施工上の要点と注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 防凍・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水洗いで除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってめくれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 動物はけは、はけが固まったりタマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- 本品は必ず2回塗りをしてください。1回塗りとは2回塗りでは仕上がりが異なります。
- つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によって適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工してください。
- 繊維壁、耐火被覆用けい酸カルシウム板、ロックウールなどの非常に弱い素材には塗装できません。
- 吸音板塗り替え用顔料分塗材 (シールマットⅡなど) の塗り替えには使用できません。
- 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー (新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗表面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥 (目安23℃、6時間) させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面などは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスとの接着力が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がってくる場合がありますので、クロスとの合わせ部などはあらかじめ接着剤などで押さえておくことが安心です。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下 (ケツト科学社製CH-2型で測定した塗料)、または5%以下 (ケツト科学社製H1500シリズ:コンクリートレンジで測定した場合) の条件で塗装してください。
- 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 濡めずばは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数が隠ぺい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板などでご確認ください。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び剛毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目および、色相や仕上がりが異なるが見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化するため、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス (シリコン加工され水をかけると著しくはくクロス) には塗装できません。塩ビクロスで可塑性移行が考えられる場合は所定の仕様で塗装してください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑性が多く含まれる塩ビ珪鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、色相の部に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて底層の沈降物を十分にかきはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート (SDS) をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項

Hiビニレックスエコ60 白		横倒禁止
<ol style="list-style-type: none"> 本来の用途以外に使用しないでください。 使用前に取扱説明書入手してください。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。 口をすすいでください。 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。 吸入した場合:気分が悪いときは、医師に連絡してください。 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。 はく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けてください。 眼の刺激が続く場合は:医師の診断/手当てを受けてください。 施設にて保管してください。 直射日光や水濡れは厳禁です。 塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。 容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切につり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。) 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上 (スプレー缶の場合は40℃以上) の温度にばく露しないでください。 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 	<p>※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。 □製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート (SDS) をご参照ください。 □本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</p>	
危険 		危険有害性情報 強い眼刺激/発がんのおそれ/臓器の障害 (単回ばく露)/長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害

日本ペイント株式会社

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 北海道支店 ☎011-370-3101 | 近畿支店 ☎06-6455-9608 |
| 東北支店 ☎022-232-6712 | 中国支店 ☎082-281-2180 |
| 関東支店 ☎03-5479-3614 | 四国支店 ☎0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 | 九州支店 ☎092-751-9861 |
| 中部支店 ☎052-461-1960 | |

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co., Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-W039

MX180603T

2018年6月現在